

## 北九州市のSDGs戦略(ビジョン)達成に向けた取組

2030年の  
あるべき姿

【2021～2023年度の取組】

【3つの柱】

【基本的な考え方】

【具体的な取組例】

「真の豊かさ」にあふれ、世界に貢献し、信頼される「グリーン成長都市」

- ◆社会課題解決につながる「持続可能なビジネスが生まれ、育つまち」
- ◆ダイバーシティの推進による「みんなが活躍できるまち」
- ◆SDGsを踏まえた教育の実践による「未来の人材が育つまち」
- ◆環境と経済の好循環による「ゼロカーボンシティを目指すまち」
- ◆アジア諸都市を中心とした「世界のグリーンシティをけん引するまち」

【経済】  
「人と環境の  
調和により、  
新たな産業を拓く」



(1) 先進のまちを目指した  
新たなビジネス  
やイノベーションの創出

- ・風力発電関連産業の総合拠点化
- ・DX等を中心とした、スタートアップ・エコシステムの拠点化推進
- ・ロボット等の開発・改良及び導入
- ・自動運転関連産業の推進
- ・脱炭素化に向けたイノベーションの推進

(2) 地域経済における  
自律的好循環の形成

- ・市内企業への就職促進、新たな働き手の確保
- ・企業立地の促進による雇用創出
- ・物流拠点都市としてのプレゼンス向上

(3) 働く場の地方分散・柔軟な  
働き方の普及

- ・地方サテライトオフィスなどの受入体制支援
- ・テレワークの推進
- ・移住・定住の促進

(4) 新たな企業価値を  
生み出すSDGs経営の普及

- ・SDGs経営を先進的に取組むモデル企業の発信
- ・「(仮称)SDGsパートナーシップ制度」の構築
- ・「SDGs経営サポート」の活用
- ・「北九州SDGs未来都市アワード」等によるモデル事例の発信

【社会】  
「一人ひとりが  
行動し、みんなが  
輝く社会を拓く」



(1) ダイバーシティの推進等  
による誰もが活躍できる  
場の創出

- ・ウーマンワークカフェ北九州を活用した女性活躍の推進
- ・誰もが働きやすいまちづくり
- ・いきがい活動ステーション等を活用した高齢者のいきがいづくり
- ・障害のある人への総合的な支援

(2) 市民参加型の活動による  
生活の質(QOL)の向上

- ・災害に強いまちづくり
- ・子ども食堂の運営支援
- ・安全・安心のまちづくり

(3) 市民の健康(幸)寿命  
の延伸

- ・健康づくり推進員の活動
- ・食生活改善推進員の活動
- ・喫煙者・受動喫煙の割合の減少

(4) 変革を支え、リードする  
教育・人材育成の推進

- ・SDGsの視点を踏まえたシビックプライドの醸成
- ・ESD活動の推進
- ・子どもに関する経済的・社会的な課題への対応

(5) 感染症に対応した安心して  
暮らせる社会の構築

- ・感染症対策の推進

【環境】  
「世界のモデルと  
なる持続可能な  
まちを拓く」



(1) 脱炭素エネルギーの  
安定的な供給体制の構築

- ・エネルギーの脱炭素化
- ・再エネ100%電力化の実現
- ・住宅街区のスマート化促進
- ・風力発電関連産業の総合拠点化(再掲)

(2) 市民・企業との協働による  
循環システムの構築

- ・世界をリードするエコタウンの形成
- ・地域環境活動の更なる促進
- ・ごみの減量と廃棄物発電

(3) コンパクトなまちの形成に  
よるストック型社会の創造

- ・集約型都市構造の形成
- ・ウォーカブルなまちの実現
- ・人と環境に優しい交通戦略推進
- ・都市のリノベーションの推進
- ・公共施設マネジメントの推進

(4) 技術と経験を生かした  
国際貢献の推進

- ・官民連携による海外水ビジネスの展開
- ・「アジア低炭素化センター」を核とする環境改善の取組
- ・石けん系泡消火剤など世界に展開する商品の開発